

経営発達支援事業評価シート【令和3年度】

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）  
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%） E：未実施  
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

| 認定計画の事業内容<br>※認定計画の事業内容を全て記載すること           | 本年度補助金活用 | 目標数値（過年度は実績値） |     |     |     |     | 本年度実績 |      | 実施内容ともたらされた効果や今後の対応等  | 次年度補助金活用有無     | 委員の評価・意見 |  |
|--|----------|---------------|-----|-----|-----|-----|-------|------|---|----------------|----------|--|
|  |          | R3年           | R4年 | R5年 | R6年 | R7年 | 実績値   | 自己評価 |   |                | 評価       | 見直し等の意見  |
| <b>1. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</b>        |          |               |     |     |     |     |       |      |   |                |          |  |
| 事業評価委員会の開催                                 | 有        | 1回            | 1回  | 1回  | 1回  | 1回  | 1回    | A    | 実施内容（補助金活用含む）<br>もたらされた効果や課題<br>今後の対応等（補助金活用含む）<br>本年度の実施状況と実績報告を踏まえた提言を事業評価委員よりいただき、PDCAが機能するよう取り組んだ。<br>事業の実施状況、成果の評価・見直し案やその後の支援に役立つ助言をいただくなど次年度以降の事業計画に反映させPDCAを回す。<br>引き続き、外部有識者として中小企業診断士に参画いただき、提言された内容をホームページに掲載して事業のスパイラルアップを図る。                       | 有<br>委員会<br>開催 | A        | 次年度以降の事業計画に反映させ、PDCAを回すことで事業を適確に遂行すること。  |
| <b>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること</b>               |          |               |     |     |     |     |       |      |   |                |          |  |
| 講習会等の積極的活用                                 | -        | 12回           | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 9回    | A    | 実施内容（補助金活用含む）<br>もたらされた効果や課題<br>今後の対応等（補助金活用含む）<br>新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初の計画した研修は少なかったが、北海道商工会連合会の研修会や中小企業大学校の支援担当者研修に参加し、経営指導員WEB研修にも受講した。<br>支援ノウハウを修得することができ、支援の向上が図れた。<br>高度なスキルが職員全員に求められるため、今後も継続して支援能力の向上やスキル向上に努める。  | -              | A        | 高度なスキルが職員全員に求められたため、引き続き積極的に受講する。  |
| 職員会議による情報共有・意見交換                           | -        | 12回           | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 6回    | C    | 実施内容（補助金活用含む）<br>もたらされた効果や課題<br>今後の対応等（補助金活用含む）<br>9月より職員の支援能力と事業効果の向上、職員間で情報共有を行うために職員のミーティングを6回開催した。<br>支援に対する職員全員の意識が変わりつつある雰囲気を感じている。<br>毎月1日定例的に職員のミーティングを行い、組織全体で小規模事業者に対する支援能力の向上や個社を支援できる体制の構築を図る。  | -              | C        | 会議実施回数の確保に向けた方策策定は現場の工夫に任せているが、事業者支援のノウハウ共有、支援を必要とする事業者の現状把握と課題解決に向けての取組は組織としての能力結集を心掛けたい。 |
| <b>3. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</b> |          |               |     |     |     |     |       |      |   |                |          |  |
| 関係機関との情報交換                                 | -        | 9回            | 9回  | 9回  | 9回  | 9回  | 7回    | A    | 実施内容（補助金活用含む）<br>もたらされた効果や課題<br>今後の対応等（補助金活用含む）<br>南十勝商工会広域連携協議会2回、日本政策金融公庫マル経協議会1回、十勝管内商工会職員協議会会議・研修会4回に出席した。<br>新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン開催になり全ての研修に出席したが、オンライン開催のため他地域の情報や支援手法の情報は得られなかった。<br>研修会等には積極的に出席し、他地域の支援事例・手法の情報交換や新たな施策情報の収集を行い、小規模事業者に対する支援力向上に努める。 | -              | A        | 小規模事業者支援に関する支援スキルの向上やノウハウの共有に有効であるため、今後も連携して継続する。  |

III. 地域経済の活性化に資する取組

| 認定計画の事業内容<br>※認定計画の事業内容を全て記載すること | 本年度補助金活用 | 目標数値（過年度は実績値） |     |     |     |     | 本年度実績 |      | 実施内容ともたらされた効果や今後の対応等   | 次年度補助金活用有無 | 委員の評価・意見 |  |
|----------------------------------|----------|---------------|-----|-----|-----|-----|-------|------|--|------------|----------|--|
|                                  |          | R3年           | R4年 | R5年 | R6年 | R7年 | 実績値   | 自己評価 |  |            | 評価       | 見直し等の意見  |
| 地域の関係者間による意識の共有                  | -        | 1回            | 1回  | 1回  | 1回  | 1回  | -     | E    | 実施内容（補助金活用含む）<br>もたらされた効果や課題<br>今後の対応等（補助金活用含む）<br>幕別町6次産業化・地産地消推進協議会は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できなかった。<br>商工会、幕別町、農業協同組合、町内金融機関、生産者、製造業者と連携して地域全体の活性化に努める。 | -          | -        | 委員会形式の開催実績はなかったとしても、日常的な意見交換と情報共有は行われているものと推測する。 |